



# 第46期（2023年3月期） 第3四半期決算補足資料



## アズマハウス株式会社

2023年2月14日

# 会社概要

会社名	アズマハウス株式会社
英訳名	AZUMA HOUSE CO.,LTD
設立	1977年（昭和52年）5月2日
代表者	代表取締役社長 東 行男
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
従業員数	211名（連結312名）
資本金	5億9,676万円
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）
株主数	2,658名（2022年9月30日現在） 発行済株式数 8,063,400株（2022年9月30日現在）
単元株数	100株 基準日 3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、株式会社アイワライフネット、こうこく不動産株式会社



# 社長挨拶（トップコメント）

当社グループにおける第46期（2023年3月期）第3四半期（2022年10月1日から2022年12月31日）の業績は、前年同期比は些少ではありますが増収減益となりましたが、当初の予算目標と比較して、些少ではございますが、増収増益となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響やロシア・ウクライナ情勢の長期化など国際社会は不安な状況が続き、加えて、原材料の価格高騰や円安による為替相場の変動など国内外の景気動向につきましても、依然として不安定な状況が続く結果となりました。

そのような中、当社グループは、資材原価の高騰を少しでも抑えるため原価管理を徹底し、品質を低下させることなく、お客様サービスの向上を図ってまいりました。引き続き「より大切に、より迅速に、全てはお客様のために」をモットーに、商品の品質、性能、お客様への対応、サービスは無限と考え、徹底してこだわり顧客満足度ナンバーワン企業を目指し、企業価値の最大化を図ってまいります。

事業面においては、各部署からの改善提案について積極的な実行に加え、再度、部署内あるいは事業内の潜在リスクを洗い出し、対応策を検討することで、リスク管理及びガバナンス体制の強化を行いました。DX化につきましても、作業効率の向上や生産性の向上だけでなく、顧客満足度の向上も図り、業績の維持・向上に努めてまいります。

当社は、自己株式の取得や従業員インセンティブの実施など、従業員モチベーションの向上や経営参画意識の高揚を図り、株主の皆様とともに経営環境や収益状況、さらに財務体質の強化を図ってまいります。また、地域社会の活性化・発展に貢献し、地元で愛される企業を目指してまいります。



アズマハウスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

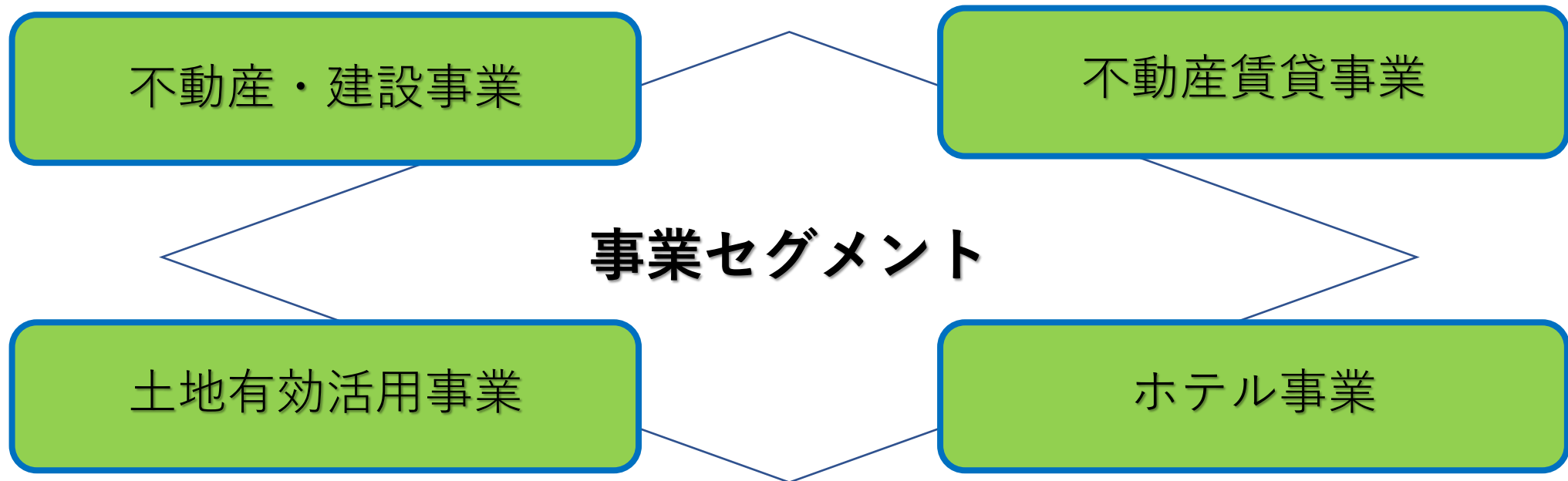
# 事業概要

## ～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において

**「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」**

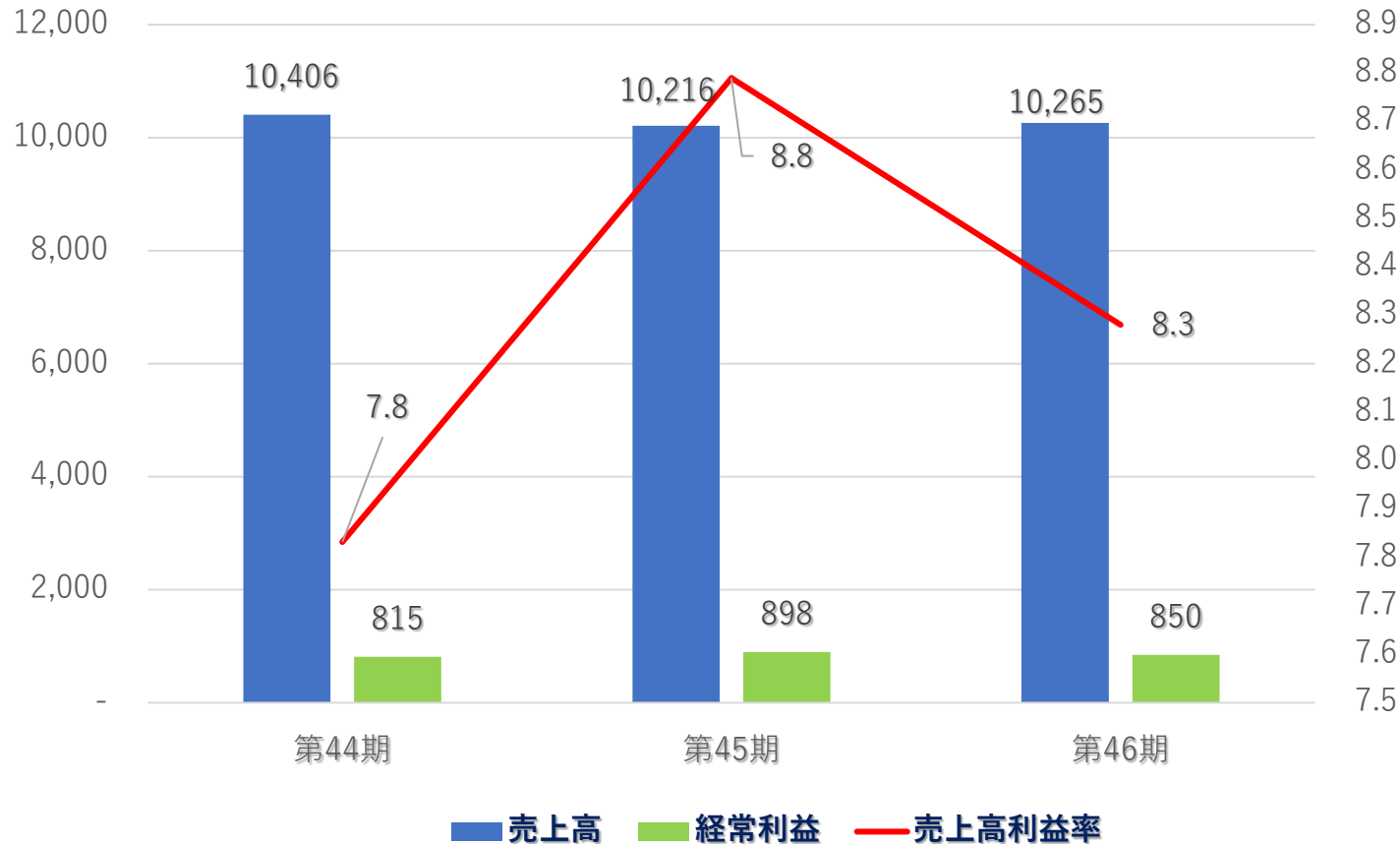
をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限  
と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。



# 連結決算（サマリー）

## 売上高・経常利益・売上高利益率の推移

（単位：百万円）



第46期売上目標 14,650百万円

第46期経常利益目標 1,190百万円

売上高 10,265百万円  
(予算比100.1%)

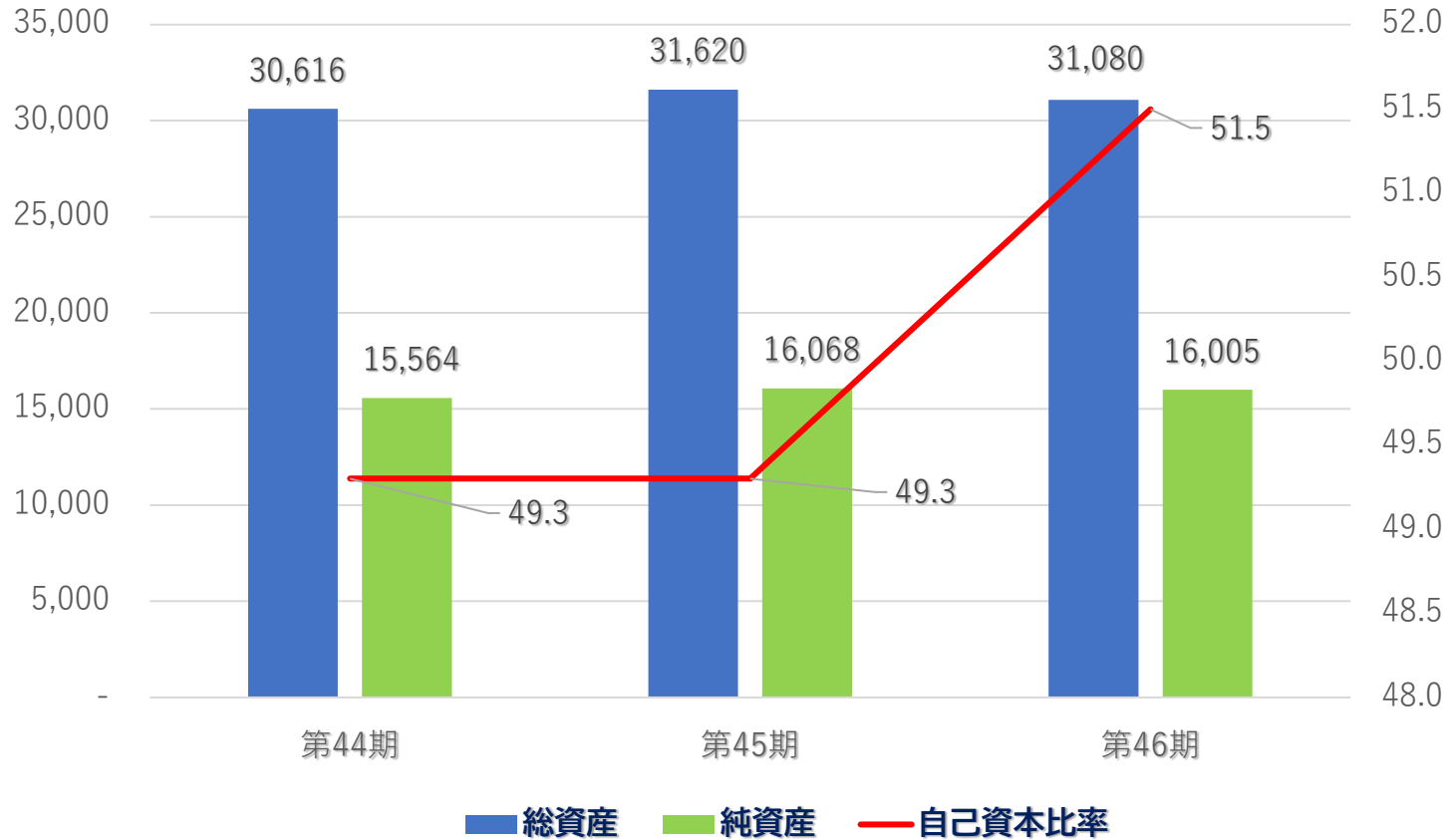
経常利益 850百万円  
(予算比102.0%)

売上利益率 8.3%  
(目標8.0%)

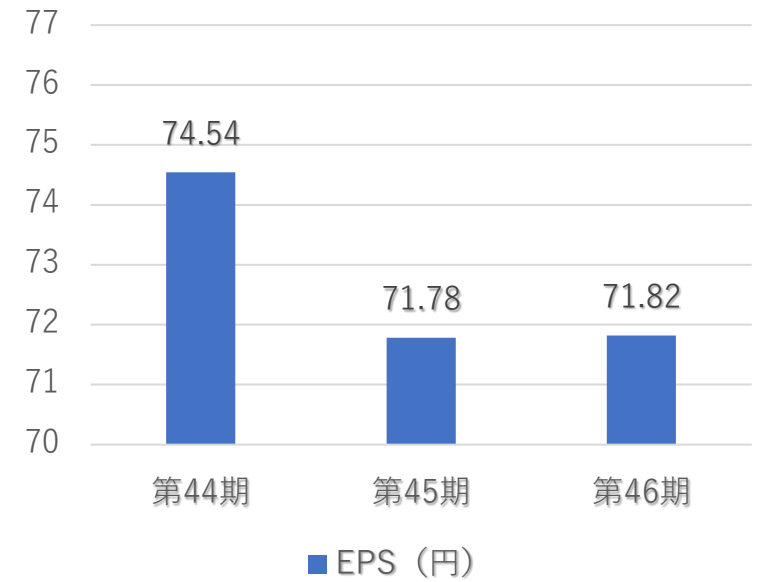
# 連結決算（サマリー）

## 総資産・純資産・自己資本比率の推移

（単位：百万円）



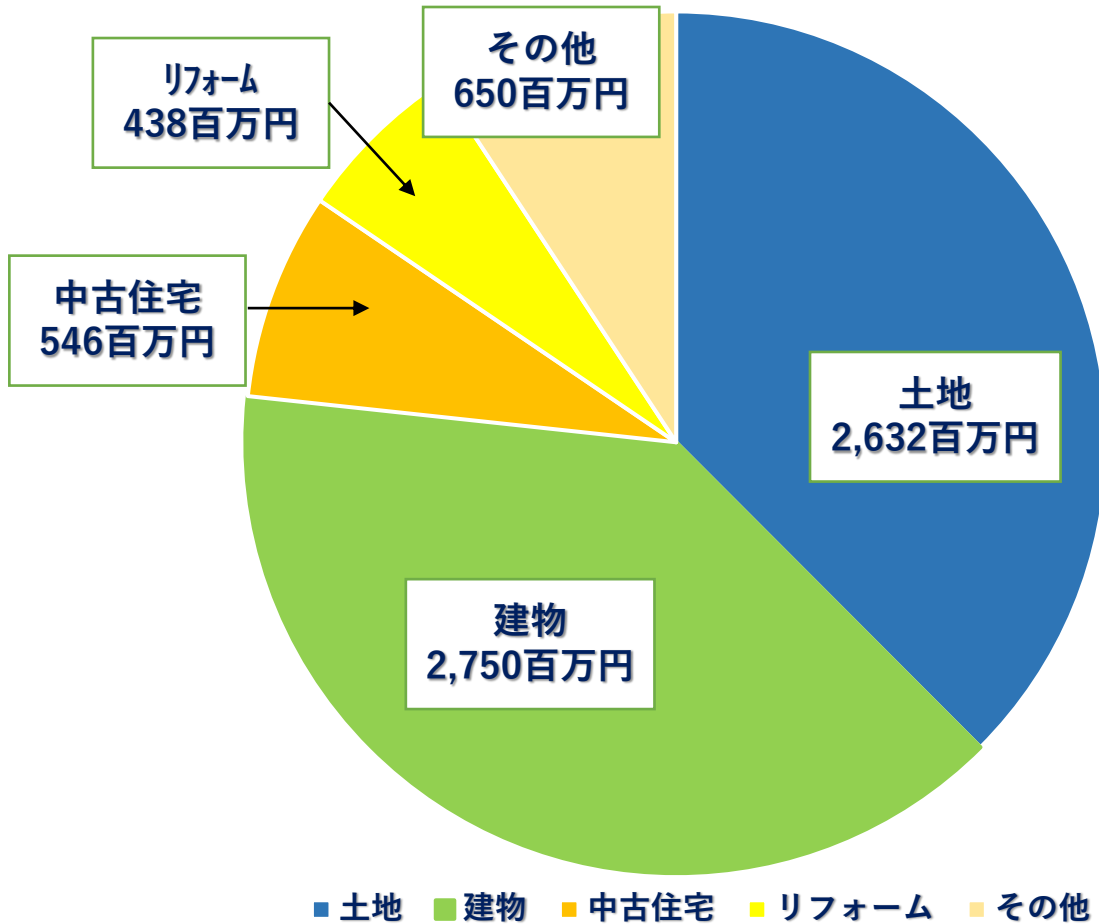
## 1株当たりの純利益（EPS）



当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。

# セグメント別実績（不動産・建設事業）

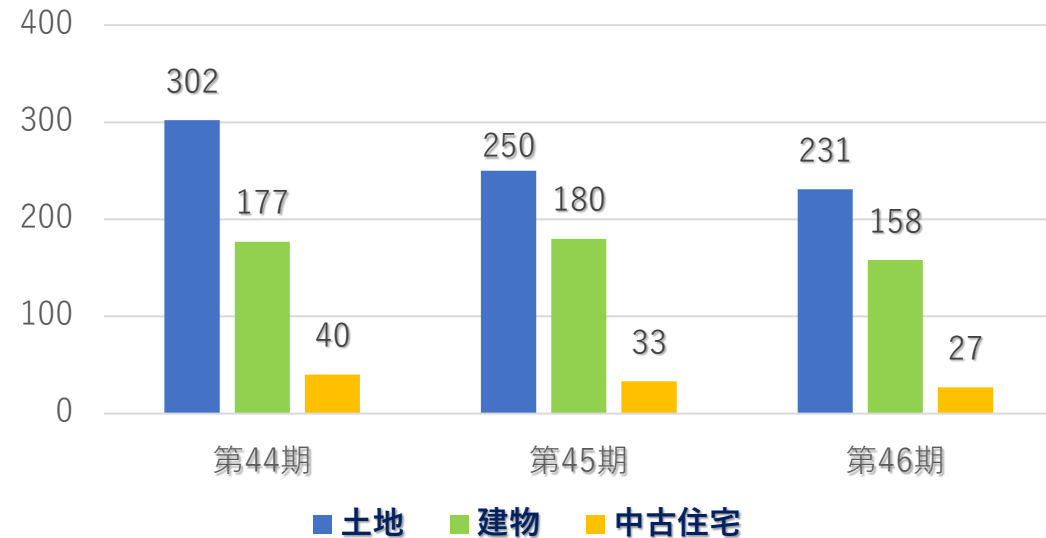
売上高



セグメント売上高 7,016百万円  
(前年同期比99.5%：予算比98.4%)

セグメント利益 306百万円  
(前年同期比89.8%：予算比153.0%) ※

売上件数推移

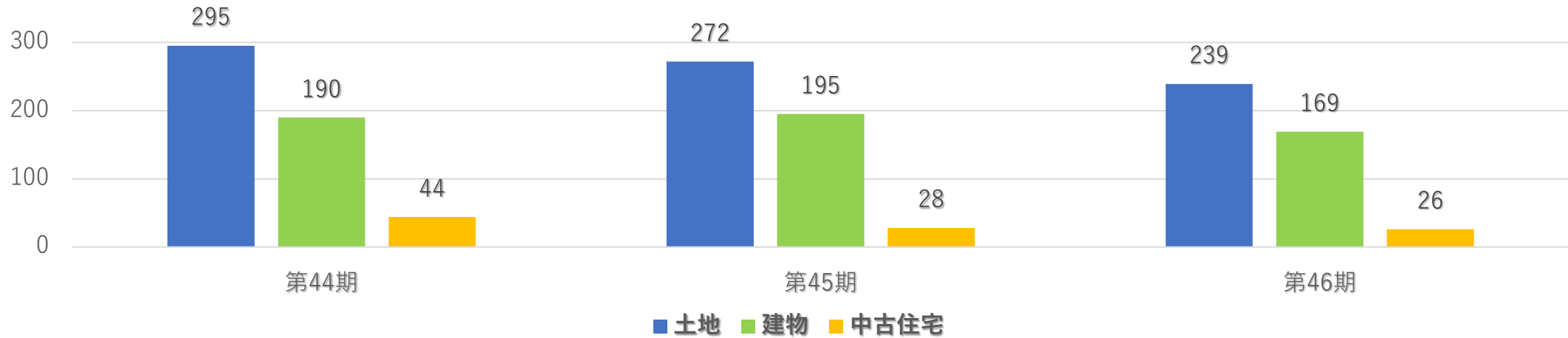


※セグメント利益の予算比との差異は、前倒しが可能となった結果であり、今期予想に大幅な修正はございません。

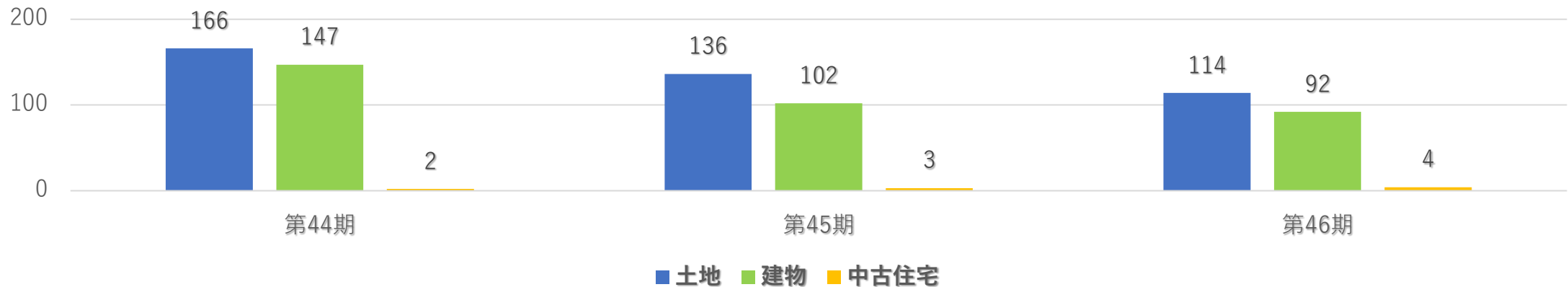
# セグメント別実績（不動産・建設事業）

## 受注件数・受注残件数推移

### 受注件数の推移



### 受注残件数の推移



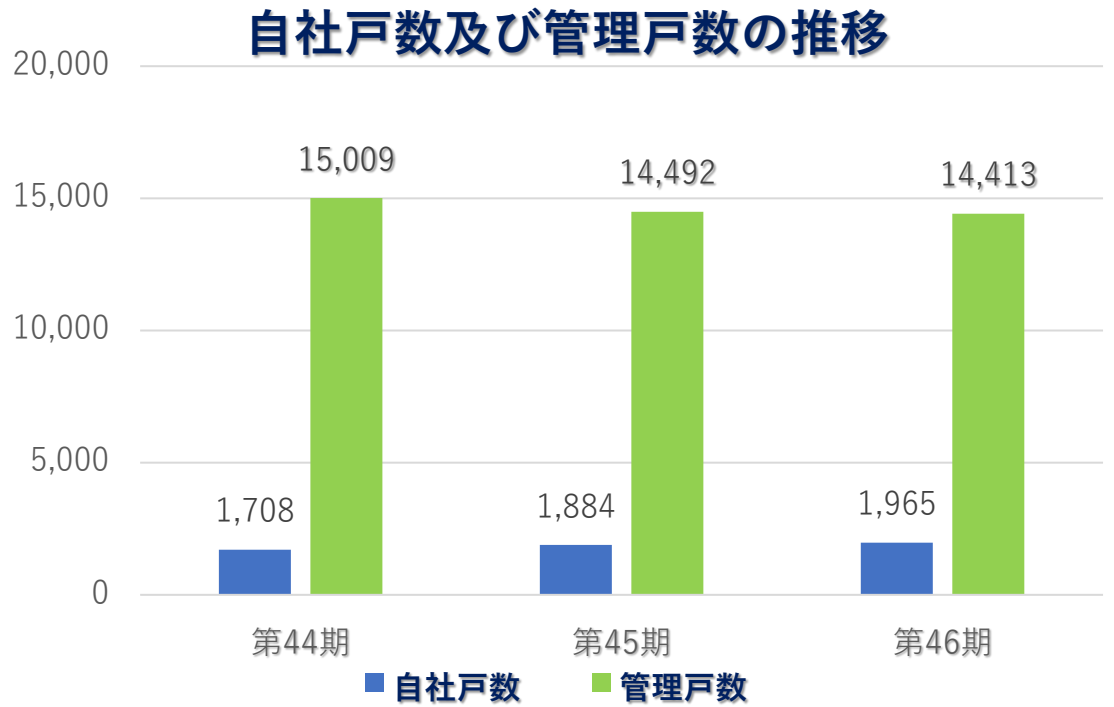
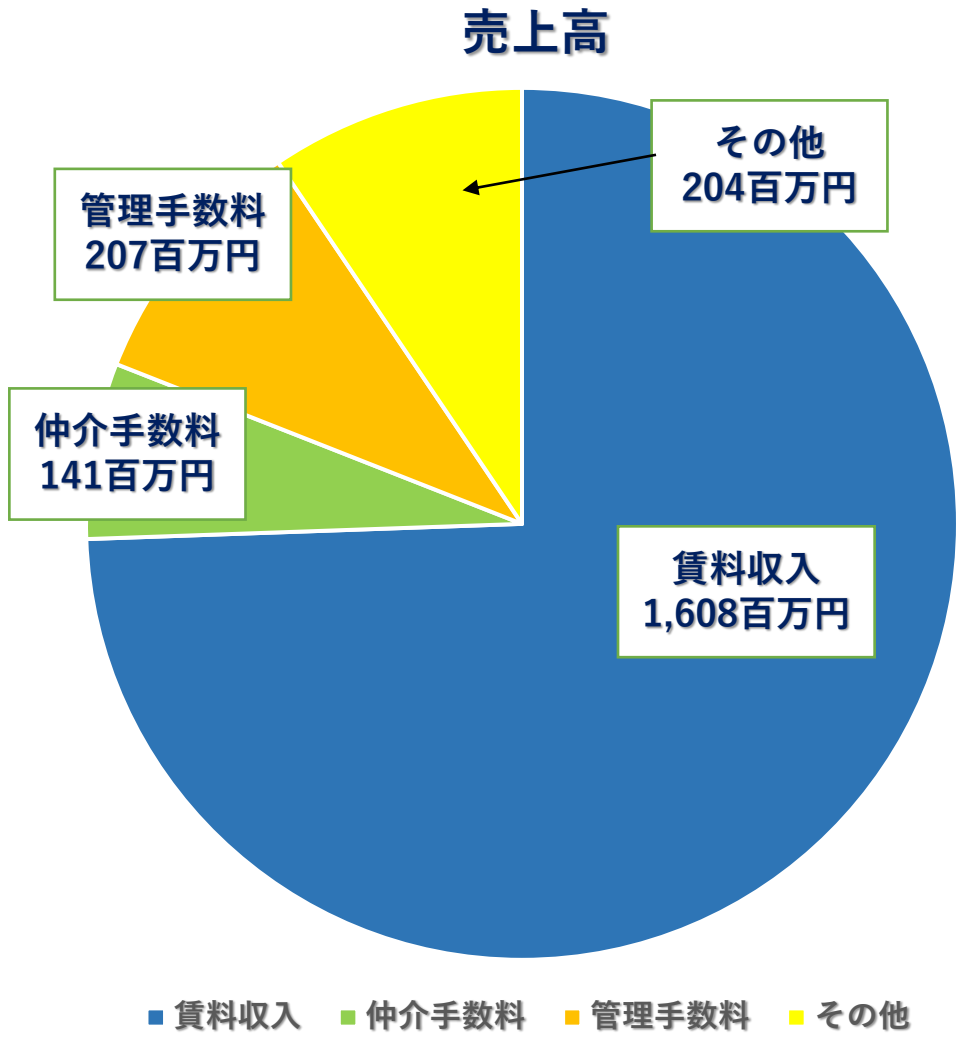


# セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率 93.3%

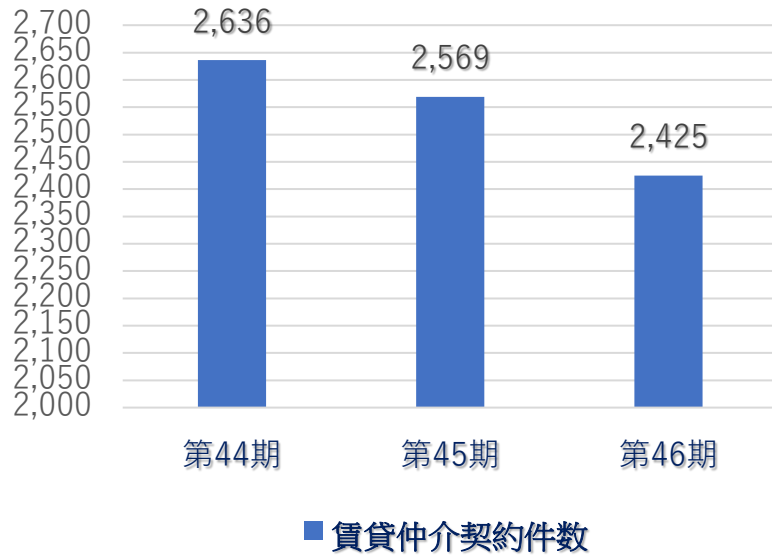
セグメント売上高 2,160百万円  
 (前年同期比103.3%：予算比101.8%)

セグメント利益 700百万円  
 (前年同期比97.7%：予算比101.4%)



# セグメント別実績（不動産賃貸事業）

## 賃貸仲介契約件数の推移



エイブルネットワーク  
**2022年度**  
**仲介件数**  
2年連続  
全国  
**第1位**  
株式会社 賃貸住宅センター  
和歌山駅前本店



管理物件入居率  
**85.1%**

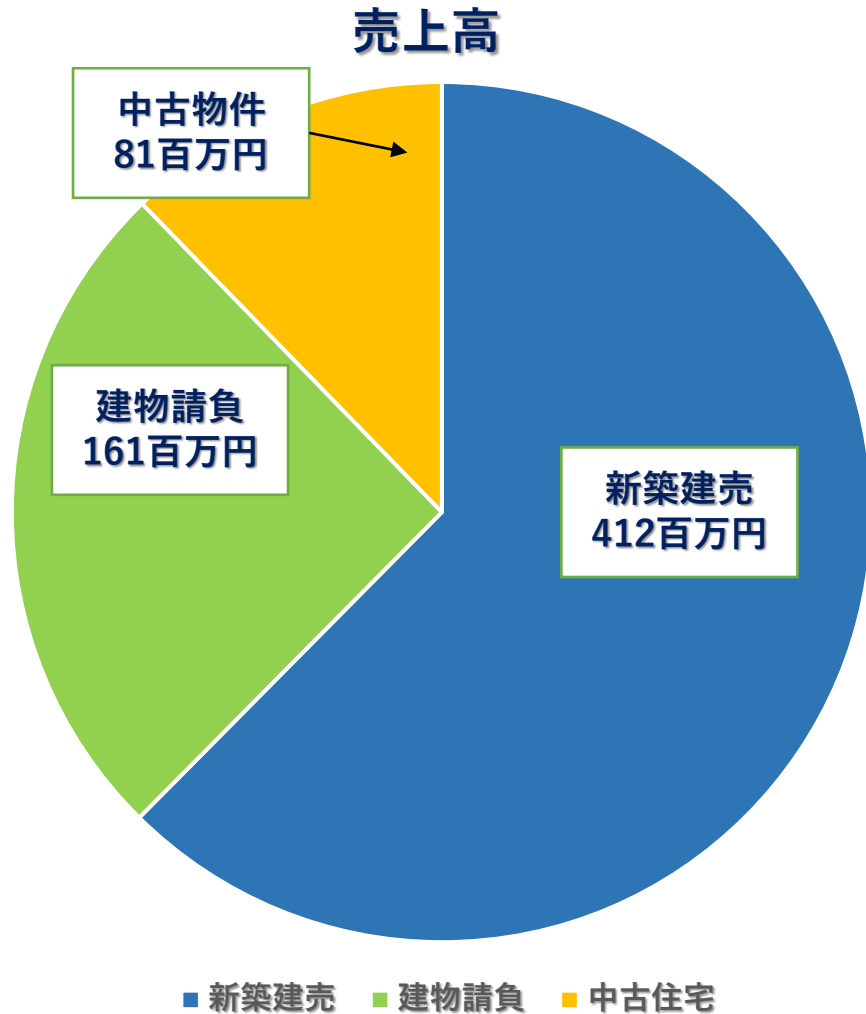
### Alliance Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/  
和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属  
提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生  
物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山  
信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看  
護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属  
指定/宝塚医療大学和歌山保健医療学部/和歌  
山リハビリテーション専門職大学/県立高等看  
護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュー  
タービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/  
和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学  
校/和歌山高等美容専門学校/IBW美容専門学  
校（順不同）



# セグメント別実績（土地有効活用事業）

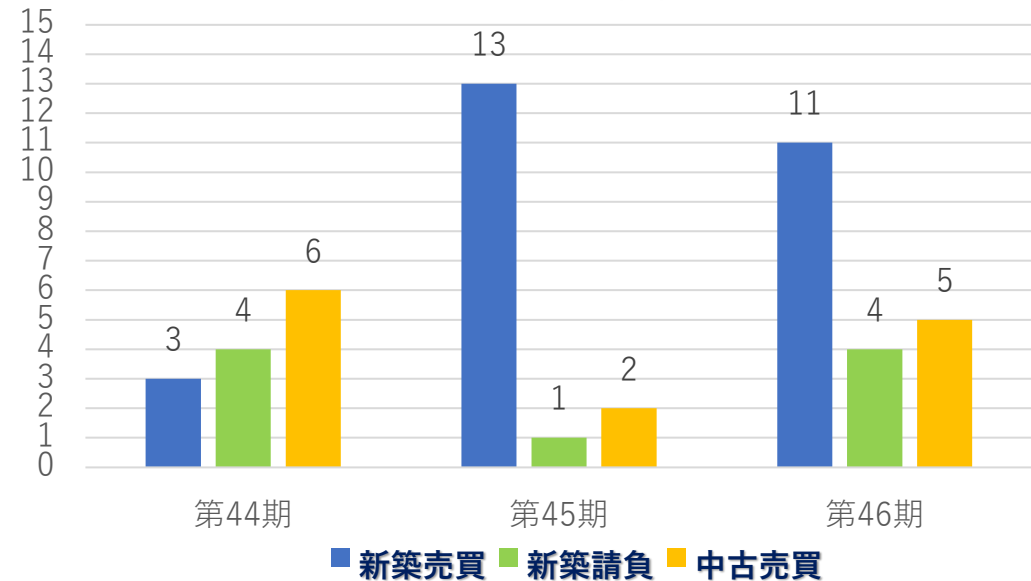
## 売上高・売上件数



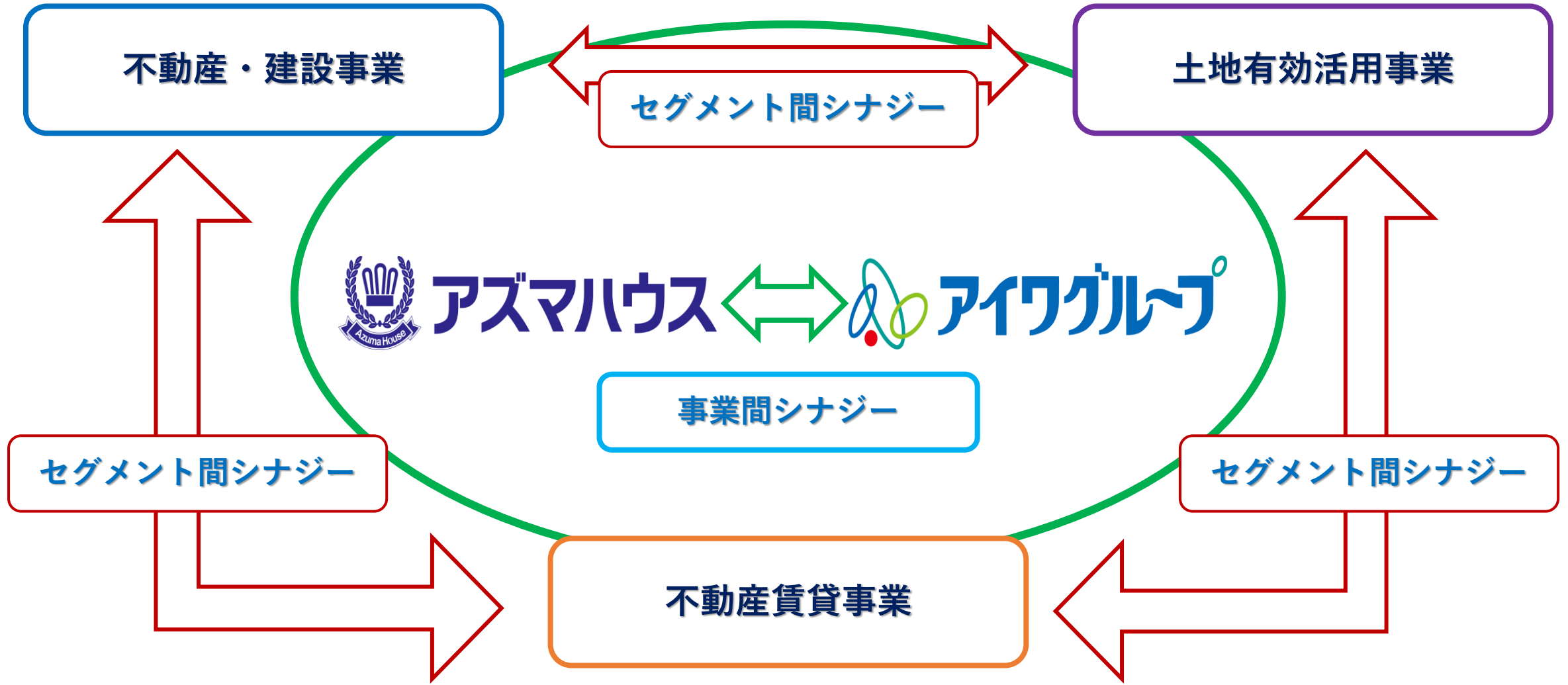
セグメント売上高 654百万円  
 (前年同期比85.6%：予算比116.7%)

セグメント利益 61百万円  
 (前年同期比63.3%：予算比127.7%)

## 売上件数推移



# セグメント別実績（土地有効活用事業）



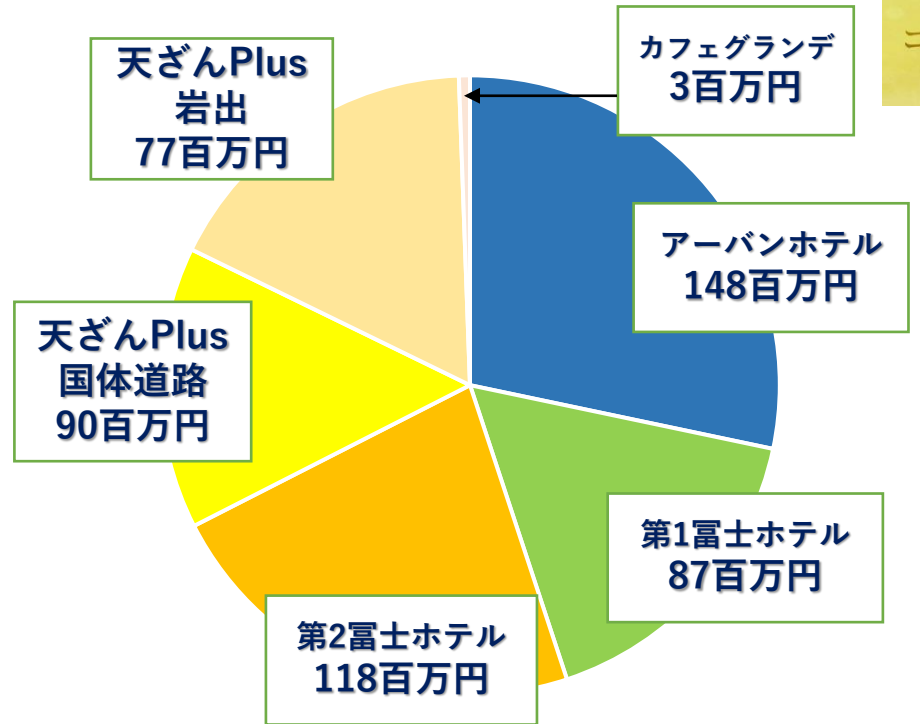
# セグメント別実績（ホテル事業）

セグメント売上高 526百万円  
(前年同期比129.1%：予算比108.4%)

セグメント利益 43百万円  
(前年同期は損失11百万円：予算比101.9%)

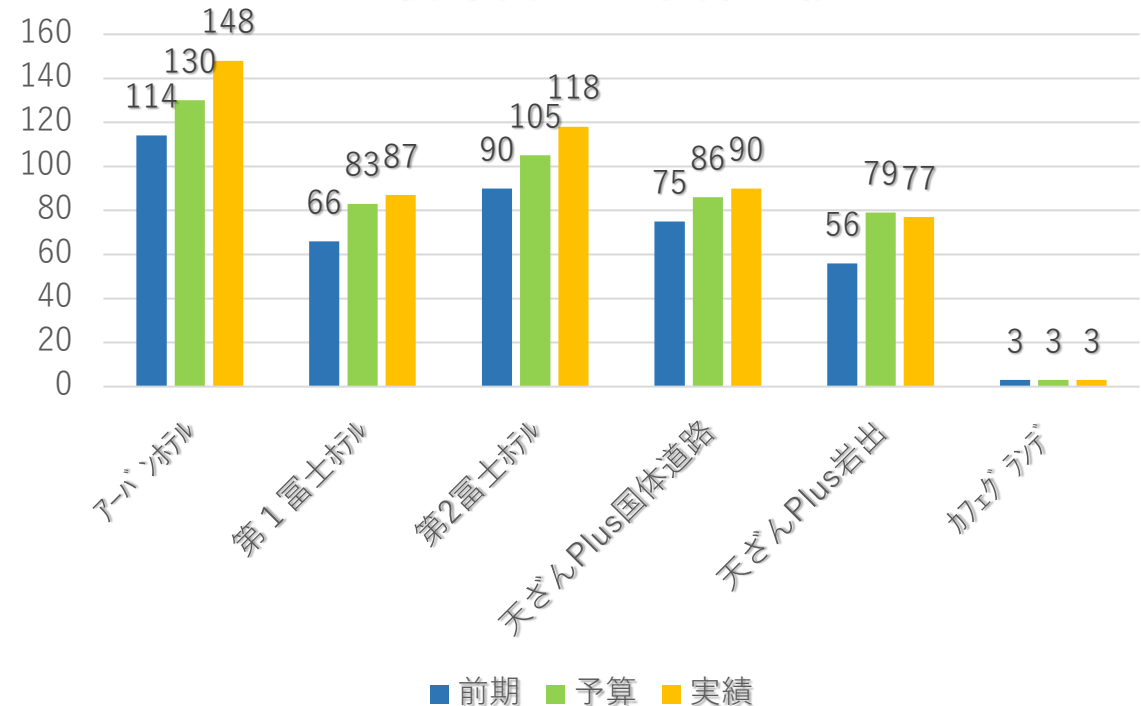


## 売上高



- アーバンホテル
- 第1富士ホテル
- 第2富士ホテル
- 天ざんPlus国体道路
- 天ざんPlus岩出
- カフェグランデ

## 前年同期・予算比較 (単位：百万円)



# アズマハウスの取り組み

## 住環境の向上

高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて、住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを実践してまいります。

### 主な取り組み

耐震等級3レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電付建売住宅の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止

## 住み続けられるまちづくり

リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献してまいります。

### 主な取り組み

リフォーム工事後の中古再生住宅の販売および中古住宅のリフォーム工事などあるものを活かすストック事業の推進

## 人権

ハラスメント禁止や働き方改革の実践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりに取り組んでまいります。

### 主な取り組み

「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、未就学時の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備

## 地域社会への貢献

地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献してまいります。

### 主な取り組み

こども食堂の運営、学童軟式野球大会の主催、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、地元採用イベントの参加、日本赤十字社の活動支援、特定非営利活動法人国連UNHCRの活動支援、公益社団法人日本ユニセフ協会支援



# 記載情報について

- ・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ  
アズマハウス株式会社 経営企画部  
電話 073-475-1018  
E-Mail : [ir\\_kanri@azumahouse.jp](mailto:ir_kanri@azumahouse.jp)  
URL : <https://azumahouse.com>